

(第16期)

## 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

旭化成ホームズフィナンシャル株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
( 資 産 の 部 )	( 36,959 )	( 負 債 の 部 )	( 32,123 )
流 動 資 産	36,644	流 動 負 債	32,123
現 金 及 び 預 金	625	短 期 借 入 金	30,000
売 掛 金	144	未 払 金	206
営 業 貸 付 金	13,330	未 払 費 用	293
短 期 貸 付 金	2,739	未 払 住 民 税 及 び 事 業 税	55
前 払 費 用	2	預 り 金	1,487
未 収 入 金	1,462	未 払 消 費 税 等	82
未 収 営 業 貸 付 金 利 息	19		
信 託 受 益 権	18,488		
立 替 金	0		
貸 倒 引 当 金	△165		
固 定 資 産	314	( 純 資 産 の 部 )	( 4,836 )
有 形 固 定 資 産	34	株 主 資 本	4,836
建 物	5	資 本 金	1,000
建 物 附 属 設 備	12		
器 具 備 品	17	利 益 剰 余 金	3,836
無 形 固 定 資 産	89	利 益 準 備 金	83
ソ フ ト ウ ェ ア	89	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,753
投 資 そ の 他 の 資 産	192	繰 越 利 益 剰 余 金	3,753
投 資 有 価 証 券	81		
繰 延 税 金 資 産	111		
貸 倒 懸 念 債 権	4		
貸 倒 引 当 金	△4		
資 産 合 計	36,959	負 債 ・ 純 資 産 合 計	36,959

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示している。

(第16期)

## 損 益 計 算 書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

旭化成ホームズフィナンシャル株式会社

科 目	金 額	百万円
営業収益		2,601
信託受益権譲渡益	526	
営業貸付金利息	133	
役務取引収益	732	
保険代理店収入	933	
その他営業収益	276	
販売費及び一般管理費		1,879
金融費用		11
営業利益		710
営業外収益		12
受取配当金	3	
雑収益	9	
営業外費用		3
雑損失	3	
経常利益		719
税引前当期純利益		719
法人税、住民税及び事業税		267
法人税等調整額		△34
当期純利益		485

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示している。

(第16期)

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) デリバティブ  
時価法を採用している。
  - (2) 有価証券  
その他有価証券  
時価のないもの・・・・・・移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産  
定額法
  - (2) 無形固定資産  
ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法
3. 引当金の計上基準  
貸倒引当金・・・・ 営業貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、過去の貸倒実績等を勘案して定めた一定の基準により算出した必要額を計上している。
  - ① 一般債権は、貸倒実績率によっている。
  - ② 貸倒懸念債権及び破産更生債権等は、財務内容評価法によっている。
4. 収益及び費用の計上基準  
営業貸付金利息の計上基準  
営業貸付金利息は、発生基準により計上している。  
なお、営業貸付金に係る未収利息については、約定利率により計上している。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
  - (1) 消費税等の会計処理方法  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。  
ただし、資産に係る控除対象外消費税は発生事業年度の期間費用としている。
  - (2) 連結納税制度の適用  
連結納税制度を適用している。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法の変更

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、主として定率法を採用していたが、当事業年度より定額法に変更している。この変更は、当社の親会社である旭化成株式会社（以下「旭化成」）が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更することを契機として、有形固定資産の償却方法の検討を行った結果、当社の有形固定資産は、長期的かつ安定的に稼働し、当社の安定的な収益の獲得に貢献することが見込まれることから、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映する費用配分方法となるとともに、当社のより適切な業績管理に資すると判断したことによるものである。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ2百万円増加している。

(表示方法の変更に関する注記)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改訂」の適用に伴う繰延税金資産・負債の表示方法の変更

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改訂」（企業会計基準第28号）を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示している。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 29百万円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務
  - ・ 関係会社に対する短期金銭債権 2,739百万円
  - ・ 関係会社に対する短期金銭債務 30,215百万円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引による取引高

- |      |       |
|------|-------|
| 売上高  | 10百万円 |
| 金融費用 | 11百万円 |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式 20,000株
2. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項  
該当事項なし。
3. 当該事業年度の末日後に行なう剰余金の配当に関する事項  
該当事項なし。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、短期的な運転資金については、親会社である旭化成株式会社、旭化成ホームズ株式会社からの借入で調達している。また住宅ローン債権を証券化し投資家へ譲渡することによる資金調達をおこなっている。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

信託受益権は、顧客の信用リスク、流動性リスク、金利変動リスクに晒されている。

営業貸付金は、顧客の信用リスク、金利変動リスクに晒されている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

顧客の信用リスクについては、債権管理グループが回収懸念の早期把握と信用情報のモニタリングによるリスク管理をおこなっている。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りである。

	貸借対照表 計上額(※)	時価(※)	差額
	百万円	百万円	百万円
(1) 現金及び預金	625	625	—
(2) 売掛金	144	144	—
(3) 短期貸付金	2,739	2,739	—
(4) 信託受益権	18,488		
貸倒引当金	△ 122		
	18,366	18,205	△ 161
(5) 未収入金	1,462	1,462	—
(6) 未収営業貸付金利息	19	19	—
(7) 営業貸付金	13,330		
貸倒引当金	△ 44		
	13,286	13,286	—
(8) 貸倒懸念債権	4		
貸倒引当金	△ 4		
	—	—	—
(9) 短期借入金	( 30,000 )	( 30,000 )	—
(10) 未払金	( 206 )	( 206 )	—
(11) 未払費用	( 293 )	( 293 )	—
(12) 未払住民税及び事業税	( 55 )	( 55 )	—
(13) 預り金	( 1,487 )	( 1,487 )	—
(14) 未払消費税等	( 82 )	( 82 )	—

(※) 負債に計上されているものについては、( )で示している。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、(3) 短期貸付金、(5) 未収入金、並びに(6) 未収営業貸付金利息  
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

(4) 信託受益権の時価は、将来キャッシュフローの見積もりを現在価値に割り引く方法により算出している。

(7) 営業貸付金は、短期間で回収されるつなぎ融資及び証券化予定債権のため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。  
営業貸付金の貸借対照表計上額には、証券化対象外の貸付金(貸借対照表計上額366百万円)を含めて表示している。

(8) 貸倒懸念債権は、担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としている。

(9) 短期借入金、(10) 未払金、(11) 未払費用、(12) 未払住民税及び事業税、(13) 預り金、並びに(14) 未払消費税等  
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

(注2) 非上場株式(貸借対照表計上額81百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、注記していない。

## (関連当事者との取引に関する注記)

## 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	当該関連当事者の議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	旭化成 株式会社	被所有 間接 100%	当社の経営管理	利息の受取 (注1)	1	短期貸付金	2,739
				資金の貸付 (注1)	1,179		
				利息の支払 (注1)	4	—	—
	旭化成 ホームズ 株式会社	被所有 直接 100%	当社の経営管理	利息の支払 (注2)	3	短期借入金	30,000
				商品企画の対価 (注3)	10	—	—

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の貸付及び借入については、親会社のグループファイナンスに基づくものであり、貸付及び借入利率は市場金利を勘案し決定している。

なお、取引金額には、貸付金及び借入金における期首と期末の差額を記載している。

(注2) 取引金額は借入金に対する支払利息であり、利率は市場金利を勘案し決定している。

(注3) 取引金額は契約に基づく受取額であり、消費税等を含めていない。

## (1株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額	241,776.31銭
1株当たり当期純利益金額	24,263.84銭

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項なし。